



未来創造新時代へ

小野町長 村上 昭正

明けましておめでとうございませう。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の対応に終始した一年となり、感染予防対策のため、多くの方々が楽しみにしていたさまざまな行事を中止せざるを得なかったことは、非常に残念なことでありました。

町民の皆さま、事業者の皆さまには、感染拡大の不安に加え活動の自粛、そして地域経済への多大な影響などを受け、それぞれのお立場で心身ともに負担を抱え、我慢の年であったと思えますが、そのような中でも日頃から感染予防対策にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。引き続き、基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。

これまで町では、感染予防対策をはじめ地域経済対策や生活支援に全力で取り組んでまいりました。特に、ワクチン接種については、

大きな混乱もなく12歳以上の希望された方々への2回目の接種を終えることができ、3回目の接種についても準備を進めております。

新たな年においても、町民の皆さまの安全・安心の暮らしを第一に考え、感染予防対策と地域経済の活性化の両立を図り、日常生活への影響をできる限り抑えるようしっかりとした対策を講じてまいります。

このような困難な状況ではありましたが、町に活気をよぶ明るい話題も多くなりました。小野高校家庭クラブが「第10回 ご当地！絶品うまいもん甲子園決勝大会」において2年連続の準優勝に輝くなど、これからの世代を担う小・中・高の児童・生徒の皆さまがさまざまな分野で素晴らしい活躍をされました。また県内の市町村対抗の軟式野球大会、ソフトボール大会、そしてふくしま駅伝では、各選手が小野町代表としてベストを尽くし、熱い戦いが繰り広げられました。今年も更なる活躍を期待した

いと思えます。

近年、人口減少と少子高齢化の加速化に加え、生活様式の変化などから、地域が抱える課題は多種多様化しています。令和4年は、このような状況をあらためて受け止め「未来へ おのまち総合計画」の主要プロジェクトを中心に各種計画に掲げる施策を職員と一丸となつて着実に進め、魅力ある持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

子育て支援、教育環境の充実については、今年の4月には「おのまち認定こども園」が開園いたしますが、事業者と町が連携して万全な体制で子どもたちの健全育成に努めてまいります。また児童・生徒の基礎学力の向上にも取り組んでまいります。

健康づくりについては、健診受診率の向上、食生活改善の推進、運動のできる環境づくり、さらには、健康づくりを総合的かつ計画的に推進することを目的とした条例の制定などに努め、町全体で健康意識の高

揚を図ってまいります。

支え合う地域づくりに向けては、これまで以上に地域の方々が地域課題の解決や地域の活性化に取り組めるような「新たな仕組み」を構築し、地域コミュニティの維持に努めてまいります。

このほかにも、高齢者・障がい者の福祉の充実、農林業・商工業の振興、生活道路を中心とした社会資本の整備、地域資源を生かした関係人口や交流人口の増、新しい生活様式に対応したデジタル化の推進などに取り組んでまいります。

そして常に10年先、20年先を見据えながら、時代の変化にも柔軟に対応できる新たな発想を持って、今年の干支「とら」のように勇猛果敢に突き進み、町民の皆さまと共に、希望に満ちあふれた新しい時代を切り拓いてまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健康で素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。